

IN THE FUTURE

日時:2014年4月19日(土)
会場:高松シンボルタワー
高松市サンポート2-1

公益法人発足より第2回目のJIA四国支部大会を開催するにあたり、香川大会では『未来へ-IN THE FUTURE』をキャッチコピーとして、世界的な環境問題、四国が抱える身近な環境課題を取り上げたいと思います。
一般社会が明るい未来となるために、環境・防災・地域コミュニティ・子ども環境への新たな提言を行い、これからの社会のあるべき姿を共に見つめなおし、開かれた建築家集団としての役割を担う大会を目指します。
基調講演では、子ども遊び環境の第一人者である環境建築家 仙田 満が、子ども環境の変化と進化を基に「未来へ託す子ども環境」についてお話を致します。

「未来へ」

大会実行委員長 佐藤 昌平

■ 基調講演 一瀬戸内子ども環境一【未来へ託す子ども環境】



仙田 満 せんだ・みつる
環境デザイン研究所 会長

1941年横浜市生まれ。1964年東京工業大学理工学部卒業 1968年環境デザイン研究所創設。現在、東京工業大学名誉教授、工学博士。

公益社団法人子ども環境学会代表理事。

主な著書:

子どもとあそび(岩波新書)、幼児のための環境デザイン(世界文化社)、子どものあそび環境(筑摩書房・鹿島出版会)、あそび環境のデザイン(鹿島出版会)

昭島すみれ幼稚園



緑の詩保育園

■ 大会スケジュール

【高松シンボルタワー6F 国際会議場】(参加費無料)

9:30~12:00 JIA四国支部総会/JIA四国支部協力会員の会
建築巡礼四国88ヵ所ガイドブックII報告
協力会員プレゼンテーション

13:00~15:45 大会式典 開会宣言 JIA 四国支部長
(CPD単位 3) JIA会長 芦原太郎「これからのJIA」

基調講演 瀬戸内子ども環境「未来へ託す子ども環境」
講師: 仙田満(東京工業大学名誉教授)

【高松シンボルタワー1F 展示会場】(参加費500円:別途申込み必要)

11:00~ 無料展示ブース: 協力会員展示
建築巡礼四国88ヵ所/各地域会パネル展

16:20~18:20 プログラム1: 災害対策セミナー
(CPD単位 各2) 「地震だ! さあ、どうする」

プログラム2: 環境セミナー
「グローバル環境時代の中で地域建築を探る」

プログラム3: コミュニティの再生セミナー
「あるものを活かして ないものへ育てる!」
「商店街の魅力を取り戻す」

プログラム4: 瀬戸内子ども環境 親子で参加するワークショップ
「わたしの家・ぼくの家・色とりどりのみんなの家II」

【ホテルクレメント高松3F 飛天】(参加費7,000円)

18:40~21:00 レセプション

■ 協力会員

アーキヤマデザイン大阪第二営業所・榎エルフ(備加江工業・元日ピューティ工業)四国営業所
・榎さんでん四国支社・榎三友土質エンジニアリング・三和シャッター工業(株)・総合警備保
障(株)高知支社・榎ダイキアックス・大光電機(株)高松営業所・田島ルーフィング(株)・榎チェリア
・東芝エレベーター(株)四国支店・トーヨーキッチン&リビング(株)・榎ノザワ松山営業所・榎濱
崎組・フジワラ化学(株)四国営業所・文化シャッター(株)・宮地電機(株)・ヤマギワ(株)高松営業所

■ 後援

香川県・高松市・香川県教育委員会・香川大学工学部・香川県デザイン協会・(公社)こ
ども環境学会・(一社)日本建築学会四国支部・(一社)香川県建築士会・(一社)香川県
建築士事務所協会・(一社)日本商環境デザイン協会四国支部・(一社)香川県建設業
協会建築部会・高松紫雲L・C・NHK高松放送局・KSB瀬戸内海放送・RNC西日本放送・
四国新聞社・建通新聞社四国支社

プログラム1：災害対策セミナー (CPD単位 2) 「地震だ！さあ、どうする」

災害対策に諸団体の取組みはそれぞれ具体化してきています。我々もそれぞれの団体に所属。事前・震災時・復旧復興とそれぞれに協力していかねばなりません。それには個人の取組みの優先順位を整理しておく必要があります。各諸団体の理念、方針を理解し、JIAらしい行動を起こそう！出来る事からの取組みと重要ポイントをもう一度見詰め直そう。

災害対策委員長 野々瀬 徹
 総合司会 富田妃登志
 一部コーディネーター 公文 敏則
 二部コーディネーター 石原 隆昌

16:20～17:00	一部基調講演 (40分)	徳島大学准教授 田口太郎 中越沖地震の災害と諸団体連携の復興計画
17:00～17:20	現状報告 (20分)	i 行政の取組み 高松市危機管理課 ii 業界の動き 高松香川県建設業協会建築部会 iii 企業の取組み 香川県中小企業家同友会
17:20～17:40	二部 復興 (50分)	i 阪神淡路大震災から今(神戸の現状) JIA近畿支部兵庫地域会 森崎輝行
17:40～18:10		ii 四国から質問と提案 各四県からの代表+参加者
18:10～18:20	結び 取組み (10分)	総括講評 JIA四国支部災害対策委員会委員長 野々瀬 徹



NPO法人プラス・アーツより

プログラム2：環境セミナー（環境×建築連続セミナー） (CPD単位 2) 「グローバル環境時代の中で、地域建築を探る」

2013年10月カトマンドゥで開催されたARCASIA（アジア建築評議会）で各国の温暖化と環境問題対策を語り合う委員会に参加した経験から、地域に根ざした環境建築への探求と持続性の大切さを紹介させていただきながら、広い視点で「JIA四国×建築連続セミナー2013基礎編」の取組みを振り返ります。

コーディネーター 新居 照和
 司会 赤松 和俊
 運営 環境×建築連続セミナー実行委員会

16:20～16:40	成果報告 (20分)	新居 照和 2013年10月カトマンドゥで開催されたアジア建築評議会で話し合われた各国の温暖化と環境問題対策の報告
16:40～18:00	ワークショップ (80分)	第1回から4回までのセミナーを通して各自が大切だと考える各セミナー内容から、二題以上の課題を持ち寄り発表し、ワークショップ形式でセミナー内容を掘り下げていきます。
18:00～18:20	総括総評 (20分)	総括総評 次年度連続セミナーにおける目標、各地域から建築的提案が出され、学びから発信へとつながる機会になるよう位置づけます。



第三回セミナー瓦版より

プログラム3：コミュニティの再生セミナー (CPD単位 2) 「あるものを活かして、ないものへ育てる」

八幡浜市における「あるものを活かして、ないものへ育てる」活動は「地域資源」×「人の強み」×「外部資源」をかけあわせることにより、地域への誇りと愛着を育むことを目的として活動しています。実際に参加者の皆様の「強み」を発見してかけあわせていくことより、まちを元気にしていくプロジェクトを考えていく方法をワークショップ形式で模索してみたいと思います。

コーディネーター 眞田井良子

「商店街の魅力を取り戻す」

JR坂出駅前商店街は、郊外型大型店舗の進展により、かつての繁栄からは程遠い行まいとなっています。違った魅力を生み出し、この地域に人々が集まり、少しでも賑わいを取り戻せないだろうか。旧藤田外科アートプロジェクトはそういう期待を込めてスタートしました。本セミナーではプロジェクトの活動・成果報告を行い今後の商店街の在り方について話し合いたいと思います。

コーディネーター 平野 祐一

16:20～16:35	事例発表 (15分)	眞田井良子 「地域資源」×「人の強み」×「外部資源」による、地域への誇りと愛着を育むこととした活動報告
16:35～16:50	事例発表 (15分)	平野 祐一 旧藤田外科アートプロジェクトの成果発表 今後の活動予定の報告
16:50～17:10	質疑応答 (20分)	コーディネーターの対談含む
17:10～18:20	ワークショップ (70分)	「人の強み」を発見するワークショップ



クリスマスオレンジフェスタ(八幡浜市) 愛顔のみかんプロジェクト(八幡浜市) 旧藤田外科建物をギャラリーに(坂出市)

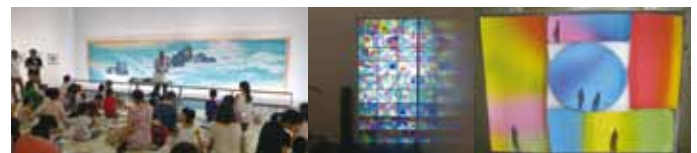
プログラム4：瀬戸内子ども環境 親子で参加するワークショップ (CPD単位 2) 「わたしの家・ぼくの家・色とりどりのみんなの家II-瀬戸の家あがり」

【瀬戸内子ども環境】
 未来につなぐ子ども環境としてふさわしい場である瀬戸内を核とし、新たな子ども環境(創意・創造・あそび空間・etc)を提案することで、瀬戸内子ども環境が未来に引き継がれることを目的としています。

【わたしの家・ぼくの家・色とりどりのみんなの家】趣旨
 子ども達が考える家は、愛に包まれた家族愛を表現することが大切であり、子ども目線から伺える家族の空間・色となります。参加者各自が家族・住空間・環境をテーマとして小作品(個の家)を制作します。個々の空間が集合化し【瀬戸の家あがり】となり、個性豊かな空間がまとまりみんなの家として生まれます。そして制作した家を持ち帰り、家族が楽しく団欒できることが、子どもにとっての良い環境になります。

特別講師 仙田 満
 コーディネーター 佐藤 昌平
 コーディネーター 秋山 裕英

16:20～16:25	挨拶 (5分)	佐藤 昌平 ワークショップの趣旨説明
16:25～17:45	制作説明・活動 (80分)	制作説明:中島静香 制作活動
17:45～18:10	発表・講評 (25分)	各自発表して、集合展示に持っていき 集合展示の所で手形をスタンプする
18:10～18:20	記念撮影 (10分)	集合展示横で写真撮影



第1回ワークショップの様子 集合展示 小作品(個の家)